

# お盆だより



東澤山 菜流寺  
 住職 武山清堂  
 〒 421-2102 静岡市葵区油島 122  
 電話は外しました。直接秘在寺  
 へお電話下さい (054-294-0542)

## ◆お施餓鬼会



お施餓鬼って、なに？  
 先祖があつて今の自分がある、その繋がりを大切にして、生かされている今を感謝し、大事に生きる事を自覚する日です。

また自分は今、餓鬼道に落ちていないか。餓鬼道とは欲(食欲・睡眠欲・性欲・財欲・名誉欲)に振り回されている生き方です。お釈迦様は「心に従わず心の主となれ」とおっしゃいました。欲を上手にコントロールする力を養うことが大切です。時には自身の日常を静かに振り返る機会が大事です。

檀徒の皆さんお寺に集まり、お施餓鬼の行事(修行)に参加しましょう。

八月九日(水) 午前十時より

・塔婆供養も行います。申し込み書にご記入の上、組長さんを通じてお申し込み下さい。組長さんは七月二十日までに秘在寺へお届けください。

・町外の方は直接お申し込み下さい。  
 FAXでもかまいません。  
 ・会計報告をします。  
 平成二十八年度護持会費

## ◆塔婆供養についてのお願い



塔婆供養を申し込む際には、必ず申し込み書をご提出下さい。町外の方も FAX・郵送などでお送りください。  
 振り込み用紙の通信欄に書いて下さる方を見受けませんが、間違いがあるとご迷惑をかけるので、必ず申し込み書に〇〇家先祖代々霊位、故人霊位などご記入の上、故人の場合には戒名をお書き下さい。お手数をかけますがよろしくお願ひします。

法要後、本山からいただいた成人・米寿のお祝いの品を授与しますので、該当者はご出席下さい。

米寿 \* \* \* \* \* 様  
 成人 \* \* \* \* \* 様

## ◆お盆柵経

町外の七月盆

七月十二日(水)

町内(油島・俵沢)

八月十一日(金)

町外の八月盆

八月十二日(土)

毎年、同じ日です  
 ので、ご準備をお願い致します



## ◆お盆草刈り奉仕

七月二十三日(日) 午前八時から

俵沢一・二組にお願い致します。

## ◆付け届け・護持会費納入お願い

各組長さんは七月末までに集金をお願いします。町外の方はお施餓鬼当日にお持ち下さるか、同封の振り込み用紙で納入して下さい。柵経の時に渡して下さってもけっこうですが、封筒に入れ、名前と付け届けであることを明記してください。



モリアオガエルが秘在寺そばの防火用水の上、桃の木に大きな卵を産みました。うまく水に入るか?という位置で、半分くらいは水に入らず縁に乗ってしまいそう。既に一つ水槽に落ちていました。なにやら金魚が集まっているので、食べられてしまっているのでしょうか?

◆春の法話会

三月二十日

今年には秘在寺・菜流寺合同で行いました。あいにくの雨模様の中、五十名弱の方においでいただきました。来年も皆様いらして下さいね。「おかげさま。自分には見えない力で今生かされている事に感謝してください」というようなお話でした。



◆花まつり

四月七日

今年の花まつりは賤機子ども園の園児がきてくれました。あいにくの雨でしたが子ども園のバスに分乗して、年少から年長までの三十二名が来山。園児による献灯・献花・献香のあと、住職のお話、御詠歌「釈迦如来御誕生御和讃」、灌仏（かんぶつ 仏像に香水をかけること、花まつりの場合甘茶をかける）をしました。

花まつりは四月八日ですが、子ども園の皆さんに来ていただくために、七日金曜日に花御堂を飾りました。来年以降も八日前後に花御堂を作りますので、どんな様も是非お参り下さい。

◆句碑の郷まつり句会

四月九日

連日雨続きの四日目、それでも日中は雨が上がり曇り空とはいえ暖かい日となりました。例年通り、

新句碑除幕・前回特選句碑除幕・山頭火句碑 献花・アトラクション、村松忠治氏講演・句会と続き、互選で入選句を決定、発表しました。

特選句

安倍川を大きく包み山笑ふ

大久保昇

準特選句

けきよけきよと小声でころがす初音かな

甲駿を分ちし山の春霞

句碑の郷しのぶ人あり土筆かな

一山を越えうぐいすの谷渡り



上は本堂の大雄寶殿、下は僧侶が食事をしている。前には吊された大きい魚の形をした開げん。時を知られた法具で一六六一年の開創以来ずっと使われています。

一般的には一周忌三回忌・・・と続きますが五十回忌以後になると遠諱（おんせき）と呼びます。一般家庭では行いませんが、寺院で宗祖や中興の祖などの五十年忌のち、五十年ごとに遺徳を追慕して行う法会が遠諱です。

秘在寺からは十名が参加しました。一日目は黄檗宗（おうぼくしゅう）の本山、萬福寺の拝観と昼食。黄檗宗は禅宗ですが、伽藍建築・風習などすべて中国風です。

◆白隠禪師二百五十年遠諱団参

五月十・十一日





